

クラス	113	担当教員	はしぐち とおる 橋口 徹
	テーマ	医療・介護のマネジメントと会計	
	著書・論文  研究課題等	<p>【最近の主な著書】『会計学説と会計数値の意味』（共著）森山書店、1998年。『会計情報の変革』（共著）中央経済社、1999年。『福祉NPOの挑戦—コミュニティ・ケアの経営管理—』（共著）国際医療福祉大学出版会、2003年。</p> <p>【最近の主な論文】「減損会計と病院の設備投資」（単著）病院 Vol.61 No.10、医学書院、2002年。「介護保険導入による自治体の老人保健財政および一般会計への影響—栃木県大田原市での実態調査から（上）（下）」（共著；筆頭著者）社会保険旬報、No.2196、No.2197、社会保険研究所、2004年。〔最近の主な訳書〕『脱予算経営』（共訳）生産性出版、2005年。『福祉の経済学』（共訳）光生館出版、2007年。</p>	
<b>ゼミナール概要</b>			
キーワード：会計、医療管理			
<p><b>目的、内容、方法等：</b></p> <p>当ゼミでは、医療・介護分野を中心とした経営組織（特に、医療機関）のマネジメントが直面する様々な問題を取り上げ、これらの問題を解決していくうえで、会計というツールが如何に役立つのかについて学習していきます。</p> <p>そのためには、最初のごく基本的な会計の仕組みから復習を始め、体系的な専門知識の習得を図るとともに（なお、ゼミでは理論、ケースを中心に扱うため、基本的な簿記会計の知識については事前に修得しておく必要がある。）、特に現在の医療機関が抱えるマネジメント上の問題について具体的事例をもとに多角的に議論し相互に理解を深めていきます。</p> <p>したがって、学習内容としては会計がコアとなりますが、経営管理や経営戦略の領域まで関わってくる場合もあり、ゼミ生の関心によっては非営利組織のマネジメント全般に至るまで学習範囲を広げることが可能です。ゼミ生の要望を積極的に取り上げつつ、研究課題の設定を行っていきたくと思います。このため意欲のある、明るく前向きな学生の参加を期待します。</p> <p>また、当ゼミは、病院等の施設見学をはじめ、学内イベントに所属ゼミ生が参加するなど、積極的なゼミ活動を行っています。</p> <p>したがって、自主的なサブゼミ等も含め、ゼミ活動にある程度の時間を割いていただくこととなります。特に、ゼミが開講される日については、少なくとも午後の時間帯（3、4、5限）は、ゼミ活動のために空けておくことを希望します。</p> <p><b>授業計画：</b></p> <p>上記のメニューを前提にして、授業開始時に、ゼミ生の理解度等を勘案したうえで、ゼミ生と適宜相談しつつ、臨機応変に設定する予定。</p> <p>なお、上記のゼミ活動の前提の知識となる、日商簿記2級レベルの学習（特に、原価計算についての学習）については、なるべくゼミ開始前に終えておくことが望ましいが、そこまで学習が進んでいない場合、少なくとも2年後期開始時には必ず当該学習が終えられているよう、所属ゼミ生は全員努力していただきたい（就職対策にも大変有効です。）。そのための指示も併せて行っていく予定です。</p>			
使用テキスト	担当教員からのメッセージ		
	<p>ゼミのメンバーは、教員も含めて一生付き合うことが出来る仲間となりうることから、大学時代にゼミに参加することはとても価値のあることと思います。勉強に遊びに何事も真剣に楽しく取り組める皆さんの参加をお待ちしております。</p>		